

Tennis House

November
11
2014

fun



Introduction of Stuff
#10
Koichiro Motoki

大切なのは
自分を持っているかどうか

春日部校ディレクター兼八潮校マネージャー

元木 孝一郎

5月22日生まれ
山梨県甲府市出身

テニスハウスファンオープンから2か月後に、ジュニアクラスの生徒として入校しました。気付けば13年間ファンと一緒にあります。今回は、本書の編集を担当しております私が、自身の事について書かせて頂きます。

ファンとの出会いから

ファンとの出会いは、2001年の9月に、生徒として来校した事がきっかけです。当時のマネージャーが高校の先輩であり、部活動の練習中に宣伝に来てくれたのがきっかけです。当時はオープンして間も無く、スタッフの人数も数名で、毎日同じスタッフがレッスンをしていました。そんな時に、社長である君島から、研修生をやってみないかと声をかけられ、コーチへの憧れもあり当時一緒に通っていた同期の友人とテニスハウスファン研修生第1号となりました。後から考えれば、人手不足な中で、雑用をこなす手伝いが欲しかったのでしよう。上手く乗せられたと思っただけです。研修生当時は、手当もなく完全な奉公で、代わりに頂けたのはコーチ達との練習時間でした。下手くそな私に、夜遅くまで練習をして下さったのを良く覚えています。高校卒業と同時にアルバイトコーチとして働く事になりますが、当時のレッスンはひどいもので、右

往左往してばかりの出来の悪いコーチでした。当時からレッスンを受けて下さっているお客様からは、今でも笑い話のネタにされています。それでも、今まで暖かい眼差しで見守って下さっている事は、私の自信となっています。大学に通いながらのアルバイトコーチでしたが、20歳でヘッドコーチ、21歳でマネージャーとなり、訳も分からないまま肩書きばかりが立派になり、戸惑う毎日でした。周りは年上のスタッフばかりで、どう接して良いか分からずに沢山の迷惑をかけました。レッスンの担当が見つからず、大学の授業を切り、1年間の単位をあきらめてレッスンをした事もありました。就職活動もせずに、授業が終わればファンへ来てレッスンをします。傍から見たら変わり者の学生だったと思います。それでも、大学では絶対に教わる事が出来ない事を、ファンで沢山学ばせてもらいました。今この道を示してくれたファンと周りの方々には感謝の思いでいっぱいです。

ファンへの想い

ここは、私が育った場所です。良い時も悪い時も全てを知っています。私の第二の家と言っても間違いありません。ファンはその名の通り楽しい場所です。みんなが集まって、楽しくテニスを、おしゃべりを、色々なfunを楽しむ場所です。これを日本中に広げて行く事が、私に出来るファンへの恩返しだと思います。

こんな小さなテニススクールから、日本中に楽しさを届けることが出来ると思っています。ファンが他のどんなスクールよりも楽しいという自信があります。そんなファンが私は大好きです。

テニスを通じて、スクール業を通じて、ファンから色々な事を教えてもらいました。ファンを支えてくれるスタッフや変わらずファンを慕って下さるお客様の心を、ファンを通じて豊かにしていければ、ここで学んだ事が間違いでは無かったと自信をもって言えると思います。いつの日か全国にファンを広めて、ここは日本を元気にできる場所と大声で胸

を張って言えるその日まで、戦い続けたいと思います。ファンを有名にしたい、誰もが楽しめる場所になりたい。これが私のファンへの想いです。

大切な事

テニススクール業界は、残念ながら社会的な地位が低く、身体を壊せばそこで終わりと考えられているのが今の現実です。私も以前は、テニススクール業で一生働いていて良いものかと感じた事もありました。ですが今は、この世界にいる事を嬉しく思っています。正確には、目標を持って毎日を奮闘できる環境にいる事を嬉しく思っています。大切なのは確たる自分を持っていられるか、自分に責任を持って逃げずにいられるかではないでしょうか。どれだけ大変であろうとも、向き合う覚悟ができた自分がいます。これもファンが私をそうしてくれました。人それぞれ大切に感じるものは違うと思いますが、今感じる想いを私は大切にしていきたいと思えます。

お客様へ

おかげさまで春日部校は13周年、八潮校は8周年を迎えることが出来ました。これも皆様の変わらぬご愛顧のお蔭でございます。一つのお店を任されるには、まだまだ至らない点ばかりの私ではございますが、より良いサービスと環境を提供できるよう今後も邁進してまいります。テニスハウスファンはお客様無しには存在できません。皆様もファンの一員です。みんなです。ファンの責任者としてこれほど嬉しい事はありません。これからもファンを、どうぞ宜しくお願い致します。



Tennis House

fun[®]
テニスハウスファン